

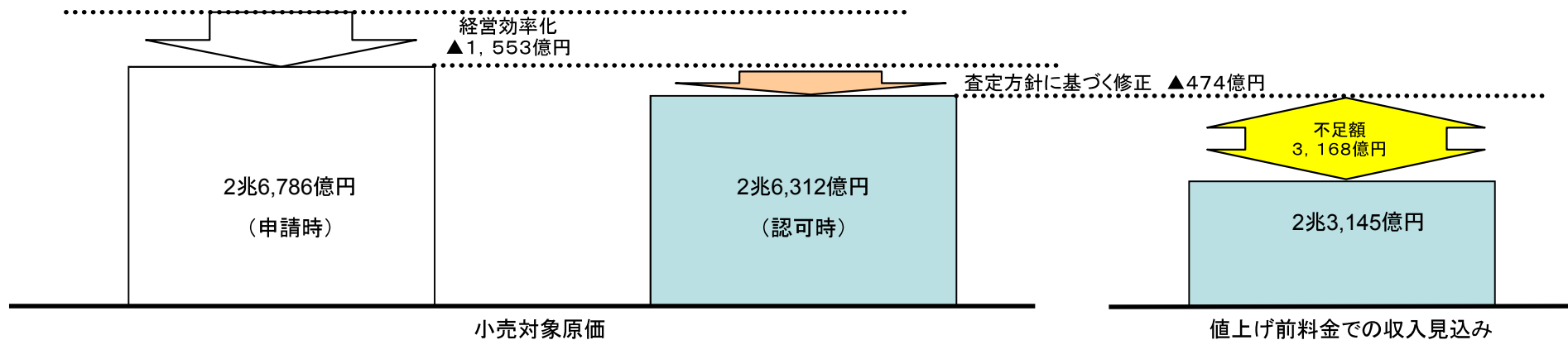
ご説明資料

平成25年6月13日
関西電力株式会社

1. 電気料金の値上げについて

1. 今回改定における料金原価

- ・原子カプラントの再稼働の遅れにより、火力燃料費等の負担が大幅に増加したことに伴い、昨年11月26日、1,553億円の効率化を織り込み、小売対象原価2兆6,786億円にて経済産業大臣へ値上げ申請を実施いたしました。
- ・その後、電気料金審査専門委員会・公聴会などを経て、査定方針に基づく修正指示（474億円）を反映した結果、小売対象原価は2兆6,312億円となりました。なお、値上げ前料金での収入見込みは2兆3,145億円であり、不足額は3,168億円となります。



<小売対象原価の内訳>

	平成25~27年度平均		
	申請時(A)	認可時(B)	差引(B-A)
人件費	1,934億円	1,822億円	▲112億円
燃料費	9,321億円	9,224億円	▲97億円
購入電力料	3,269億円	3,224億円	▲46億円
修繕費	2,654億円	2,596億円	▲58億円
減価償却費	2,965億円	2,945億円	▲20億円
事業報酬	1,360億円	1,346億円	▲14億円
公租公課	1,761億円	1,749億円	▲12億円
その他	3,521億円	3,406億円	▲115億円
合計	2兆6,786億円	2兆6,312億円	▲474億円

<申請原価に織り込んだ効率化額>

(平成25~27年度の3年平均)

費用項目	効率化額
人件費	345億円
燃料費	486億円
購入電力料	287億円
修繕費	66億円
設備投資 関連費用	370億円
諸経費等	1,553億円
合計	1,553億円

※ 四捨五入の関係で、合計が一致しないことがあります。

◎ 今回の料金原価は、大飯3, 4号機に加え、高浜3, 4号機が平成25年7月以降に再稼働する前提で、原子力利用率を34.5%として算定しております。

●規制分野：平均9.75%の値上げ（5月1日から実施）

●自由化分野：平均17.26%の値上げに見直し

（4月1日から実施している値上げについて、規制分野の認可にあわせ、当初お願いしていた値上げ後の料金単価を見直します。）

⇒4月1日から4月の検針日前日までのご使用量と、申請時点の料金単価と今回見直した料金単価の差分にもとづき算定した額をあらためてお返しさせていただきます。

【申請時】

	値上げ後 平均単価	値上げ率
規制分野	22.93円/kWh	11.88%
自由化分野	15.91円/kWh	19.23%



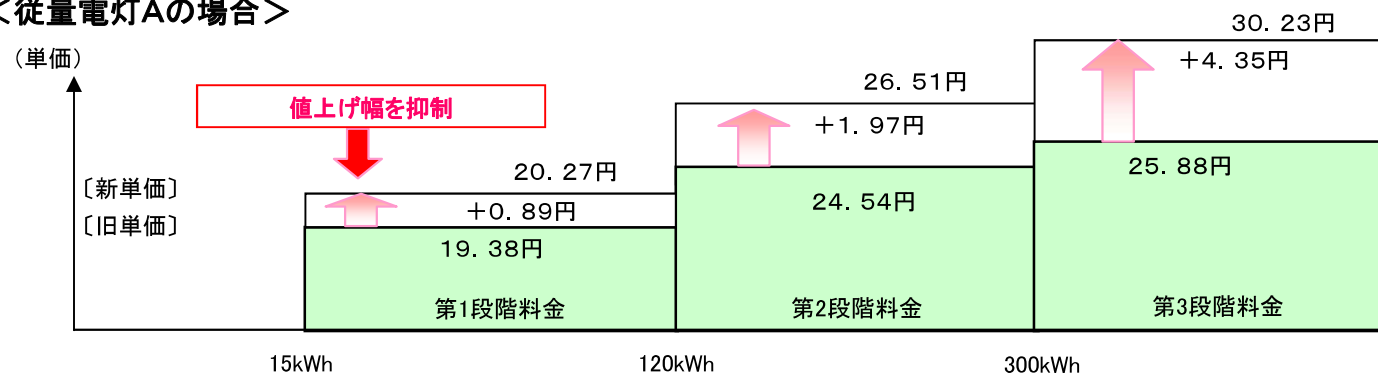
【認可時】

	値上げ後 平均単価	値上げ率
規制分野	22.49円/kWh	9.75%
自由化分野	15.65円/kWh	17.26%

①お客さまのご負担軽減につながる取組み【従量電灯】

・3段階料金制度である従量電灯において、暮らしに必要不可欠な電気ご使用量に相当する第1段階料金は値上げ幅を小さく、第3段階料金は省エネルギー推進の観点から値上げ幅を大きくしております。

<従量電灯Aの場合>



②お客さまの選択肢拡大につながる取組み【はぴeタイム(季節別時間帯別電灯)】

・より多くのお客さまに、負荷平準化によって電気料金を削減できる「はぴeタイム」をお選びいただけるよう、ご加入条件の一部を変更(夜間蓄熱式機器保有要件を廃止)いたします。

・また、はぴeプラン(オール電化割引)は、平成27年4月1日以降、新規のご加入を停止いたします。

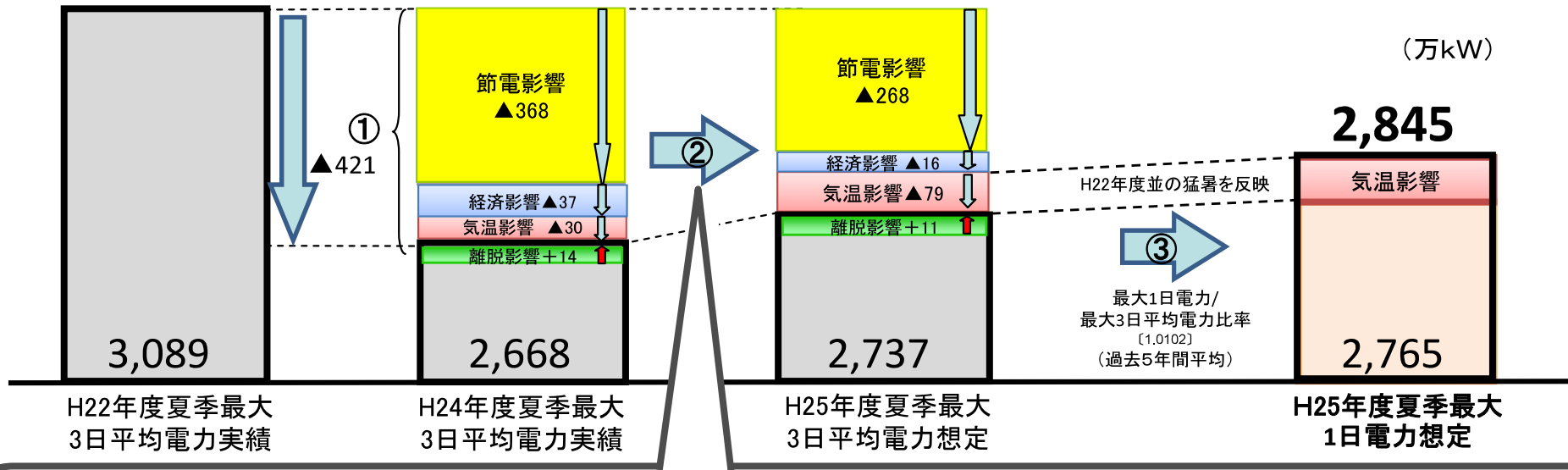
③お客さまからのご意見、ご要望にお応えする取組み【延滞利息制度の導入】

・これまでの「早遅収料金制度」を廃止し、「延滞利息制度」を導入いたします。

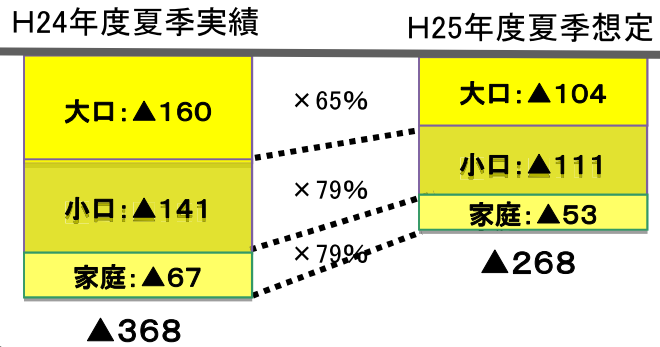
2. 今夏の需給見通しについて

今夏の最大電力想定の方考え方について

【最大電力の見通し】



【②-1:節電影響の見通し】



【定着節電アンケート結果(H25.2実施)】

	定着率	サンプル数
大口	65%	463件
小口	79%	483件
家庭	79%	1071件

【②-2:経済影響の見通し】



- ①: H24年度夏季における節電影響、経済影響、気温影響、離脱影響を、H22年度とH24年度の夏季実績を比較して算出しています。
- ②-1: 今夏の節電影響は、至近のアンケート結果に基づいた大口、小口、家庭別の節電定着率により、▲268万kWと想定しています。
- ②-2: 今夏の経済影響は、H24年度の関西地域の景気が低迷したため、リーマンショックから大きく景気が回復したH22年度夏季と比較すると依然としてマイナスであるものの、今後の景気拡大を織込み、H24年度夏季と比べ+21万kWとなるものと想定しています。
- ③: H22年度並の猛暑を反映した今夏の最大1日電力は、最大1日電力/最大3日平均電力比率の過去5年間平均を用いて、2,845万kWになるものと想定しています。

今夏の需給見通し(8月)

[万kW]

	①昨夏想定	②今夏想定	差分 (②-①)	備考
供給力-需要 (予備率)	▲445 (▲14.9%)	87 (3.0%)		(凡例) ☆ 計上の考え方 ○ 昨夏との差分
需要	2,987	2,845	▲142	○節電影響量の見込み(▲117→▲268)等による差分 ○昨夏想定には随時調整電力▲28万kW織込み
供給力(合計)	2,542	2,932	+390	
原子力	0	236	+236	○大飯3・4号機の稼働による増(+236) ※料金申請で織込んだ高浜3・4号機は、供給力には見込まず
水力	203	205	+2	☆天候によらず安定的な供給力として下位5日の平均から算定 ○和田、船津他の台風被害からの復旧等による増(+2)
火力	1,472	1,478	+6	☆定期検査の繰り延べ ※昨夏同様、全台運転で計上 ☆火力の増出力、緊急設置電源、吸気冷却装置の活用 ○閑空1GT他の増出力運転の実績を反映等による増(+3) ○姫路第一GTの営業運転による増(+3) ☆試運転出力は供給力として計上しない ※建設中の姫路第二1号機は同一サイト内における初号機であるため見込まず
揚水	223	420	+198	☆想定需要とベース供給力から算定
新エネ	0.2	0.3	+0.1	
他社・融通	644	591	▲52	☆太陽光は高需要発生日の下位5日の平均から算定 ○固定買取制度による至近の普及状況等による増(+16) ☆必要予備率3%確保までの調達を計画 ○自家発からの調達の減(▲14) ○応援融通の減(▲50) 等 ※四捨五入のため合計が合わないことがあります。
他社	522	525	+3	
水力・揚水	67	68	+1	
火力	451	436	▲14	
新エネ	5	21	+16	
融通等	121	66	▲55	

○今夏は、想定需要2,845万kW(1日最大電力・H22年度並の猛暑)に対して、最低限必要な予備率3%となる、供給力2,932万kWを確保できる見通しです。

今夏の需給見通し

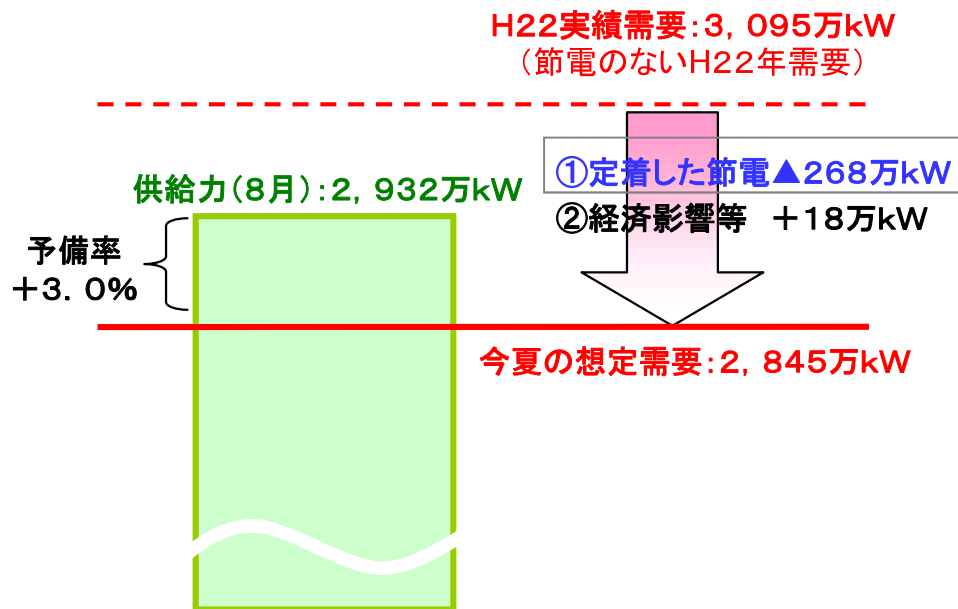
(発電端: 万kW)

	7 月	8 月	9 月
需要	2,845	2,845	2,764
供給力	2,932	2,932	2,848
予備力	87	87	84
予備率	3.0%	3.0%	3.0%

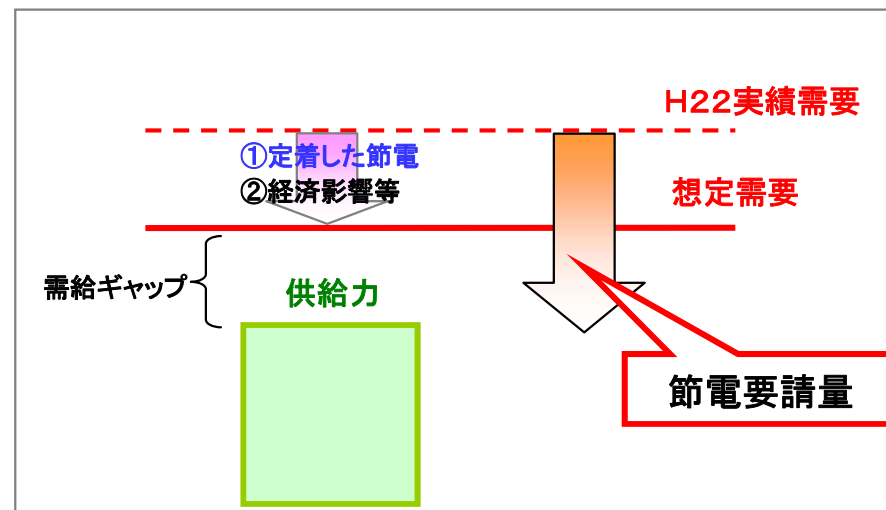
供給力内訳	原子力	236	236	118
	火力	1,482	1,478	1,483
	水力	223	205	188
	揚水	425	420	429
	他社・融通	566	591	631

定着した節電の見込みと節電・省エネのイメージ

今夏は、当社管内では電力を安定供給する上で最低限必要な予備率となる3%を確保できる見通しではありますが、需要の想定において、定着した節電（平成22年度の夏季最大電力比：8.7%、268万kW）を見込んでいることから、この水準を目安に、この夏についても、ご無理のない範囲で、引き続き、節電・省エネにご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



(参考)昨夏までの節電要請のイメージ



<参考：政府の節電要請内容および期間・時間>

要請内容：「数値目標を伴わない節電」※今夏の需給見通しは、定着節電分の需要減少を見込んでおり、この水準での節電の確実な実施を要請（当社管内の目安8.7%）

期間・時間：平成25年7月1日（月）～平成25年9月30日（月）までの平日（ただし、8月13日（火）～15日（木）までを除く）9時～20時

今夏の需要側の対策の考え方

- 昨夏は、需給ギャップが大きくマイナスと想定される中、お客さまにも相当のご負担をお願いするとともに、ありとあらゆる対策を実施しました。
- 今夏は、大飯3, 4号機の稼働を見込んだ上で、火力の震災特例の活用による定検繰り延べ等により、最低限必要な予備率3%は確保出来る見通しです。
- そのため、お客さまのご負担を極力軽減しつつ、効果的・効率的なピーク抑制対策について、引き続き取組みを進めるとともに、将来に向けた知見の蓄積を図ってまいります。

今夏の取組み

- ホームページにて、電力需給のお知らせ（でんき予報）
 - ホームページや検針票裏面等にて、節電・省エネのPR
 - 電気のご使用状況を見える化するサービス「はぴeみる電（電気のご使用量のお知らせ照会サービス）」の加入拡大に向けた取組み
 - 緊急時のネガワット特約（通告調整特約）
 - BEMSアグリゲーターを活用した需要抑制の取組み
- 法人のお客さま向け

■電力需給のお知らせ

【掲載時刻】毎日9：30頃、18：30頃

【掲載内容】毎日の需給予想

【掲載項目】使用率（顔マークなし）、予想最大電力、ピーク時供給力、電源別の供給力など

※電気の使用率が97%を超過する見込みとなった際、電子メールにてその時間帯をお知らせする「需給逼迫のお知らせメール」の運用および新規登録の受付を6月下旬より開始いたします。なお、ご登録はホームページにて受付いたします。（既にご登録いただいている場合は、改めてのご登録は不要です。）

■週間電力需給のお知らせ

【開始時期】6月28日（金） [7月1日（月）以降の予報分] から

【掲載時刻】毎週金曜日18：30頃（日々の更新なし）

【掲載内容】翌週（平日月～金）の需給予想 ※土日祝・8月13日（火）～8月15日（木）を除く

【掲載項目】使用率（顔マークなし）、予想最大電力、ピーク時供給力、電源別の供給力など

■電力需給のお知らせ（イメージ）



■週間電力需給のお知らせ（イメージ）

H25年〇月〇〇日 18時30分更新

	〇(日)	〇(月)	〇(火)	〇(水)	〇(木)	〇(金)	〇(土)
使用率	—	88	89	—	94	95	—
予想最大電力 (万kW)	—	X,XXX	X,XXX	—	X,XXX	X,XXX	—
ピーク時供給力 (万kW)	—	X,XXX	X,XXX	—	X,XXX	X,XXX	—
天気	—	曇り一時雨	雨時々晴れ	—	晴れ後曇り	晴れ	—
気温(℃) (最低/最高)	—	XX/XX	XX/XX	—	XX/XX	XX/XX	—

※需給逼迫のお知らせメール（イメージ）

